

被害防止に向けた関係機関との連携、広域的な分布情報の発信、捕獲・防除対策の実証、個体数管理への協力等、総合的に取り組んでいます。

関係機関及び地域との連携

○「東北地方におけるニホンジカ被害対策検討会」の主催
平成26年9月、東北でシカ対策に特化した初の検討会を主催し、有識者、環境省、農政局、各県の自然保護課等と情報共有や、今後に向けた意見交換を行い、今後各機関の情報を共有しながら対策を進めることとしました。



東北地方におけるニホンジカ被害対策検討会（H26年9月）

キーワード⇒「東北は、まだ間に合う！」「予防的対策」

○市町村鳥獣被害対策協議会等への参画

被害地域の4(支)署が8協議会に参画し、地域との情報共有、意見・要望の聞き取りや有害捕獲支援等を行っています。



遠野地方有害鳥獣駆除協議会

局内連携・職員の研修等

○局内プロジェクトチームの設置

関係4課(計画課、技術普及課、森林整備課、保全課)で情報共有を図りながら対策に取り組んでいます。



森林計画の策定等に関する現地検討会

○職員の知識向上を図るための取り組み

・署長等を対象に静岡署の誘引狙撃事例から、地域における被害対策のマネジメント手法を学ぶ(H26年5月)

・「森林計画の策定等に関する現地検討会」にて被害地を視察(H26年7月)

・署職員を対象に「鳥獣被害対策及び狩猟の知識に関する講習会」を実施(H27年2月及び7月)



署長等を対象としたマネジメント手法の講習会

生息状況・被害状況等のモニタリング

○分布情報等の収集とホームページでの情報発信

県境を越えた広域的な組織力を活かし、ニホンジカの分布状況や植生への影響についての情報収集を継続して行っています。

収集した情報はホームページを通じて公開中です。地域に広く情報提供するとともに、関係機関の情報と組み合わせた効率的な被害防止対策の検討に活用します。



HPでの分布情報公開イメージ

○白神山地世界遺産地域におけるニホンジカ対策

環境省と連携してモニタリング体制を強化し、計79台のセンサーカメラを周辺に設置して監視にあたっています。さらに、白神山地世界遺産地域科学委員会等を通じて専門家の意見を伺いつつ、必要な対策について関係機関と連携して検討します。



白神山地世界遺産地域周辺で撮影されたニホンジカ

○国有林内でのセンサーカメラ調査協力

青森県が実施する調査に津軽署・三八上北署で計5台のセンサーカメラを設置して調査に協力しています。

被害防止対策の推進

○造林地における被害防止対策のコスト実証

ニホンジカによる造林木への被害防止対策について、効果やコストの実証に取り組み、地域や被害状況に応じた効率的な被害防止対策を検討します。



侵入防止柵

○効率的な捕獲に向けた調査・実証

ニホンジカの新たな捕獲手法等についての調査・実証をモデル的に実施することで、効率的・効果的な捕獲のための技術開発に協力します。



GPSを用いた行動追跡調査のイメージ



簡易囲いワナの実証試験

(モデル的に実施する調査・実証の例)

○有害捕獲の取り組み

地域の協議会等を通じて関係者との連携を深め、必要に応じた冬季の林道除雪等によりハンターを支援することで、ニホンジカの有害捕獲に協力します。

また、被害森林の保全を目的とした委託による捕獲事業を実施しています。



林道の除雪(遠野支署管内)